

株式会社 日新

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月29日

航空貨物の減少と新型コロナウイルスの影響で減益

- ・今回の決算説明会につきましては、当初2020年5月20日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス（以下「新型ウイルス」）感染拡大による緊急事態宣言が発令された為、開催を中止し、決算説明はホームページで発表する形式としました。
- ・2020年3月期決算は国内外の物流貨物、旅客数の減少により、対前期比で減益の結果となりました。

目次

I . 2020年3月期 実績

P.3 ~ P.10

II . 新型コロナウイルスの今後の影響

P.11 ~ P.15

III . 第6次中期経営計画進捗

P.16 ~ P.22

IV . ESGの取組み

P.23 ~ P.24

I .2020年3月期 実績

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

2020年3月期 実績

(単位:百万円)	19/3期	20/3期			
	実績	11/5 修正計画	実績	計画比	前期比
売上高	218,040	211,000	197,387	93.5%	90.5%
営業利益	5,698	4,000	3,528	88.2%	61.9%
経常利益	6,584	4,700	4,114	87.5%	62.5%
当期純利益	4,426	3,300	2,705	82.0%	61.1%

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・第2四半期終了時点で世界経済の減速に回復が見られず、2019年11月5日に期初業績予想の修正を発表しました。
- ・修正発表時以降の大きな変化として新型コロナウイルス蔓延が挙げられます。
- ・売上高は1,973億87百万円(計画比93.5%、前期比90.5%)。
 営業利益は35億28百万円(計画比88.2%、前期比61.9%)。
 経常利益は41億14百万円(計画比87.5%、前期比62.5%)。
 当期純利益は27億5百万円(計画比82.0%、前期比61.1%)となりました。

2020年3月期 セグメント別実績

(単位:百万円)

事業		19/3期 実績	20/3期 実績	前期比		
				増減額	率(%)	
売上高	物流事業	日本	102,919	99,298	△3,621	96.5%
		海外	51,654	44,148	△7,506	85.5%
	旅行事業	62,052	52,475	△9,577	84.6%	
	不動産事業	1,413	1,463	50	103.5%	
	その他	2	3	1	150.0%	
	合計	218,040	197,387	△20,653	90.5%	
営業利益	物流事業	日本	2,570	1,983	△587	77.2%
		海外	1,629	460	△1,169	28.2%
	旅行事業	573	139	△434	24.3%	
	不動産事業	874	890	16	101.8%	
	その他	52	56	4	107.7%	
	合計	5,698	3,528	△2,170	61.9%	

※ 数値は、各地域の業績を分かりやすく説明するための社内集計値

※ 「その他」は、連結処理等

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・セグメント別の収益結果となります。
- ・売上、営業利益とも不動産事業以外は対前期比で減収、減益となりました。
- ・各セグメントの状況は8ページで説明しますが、今期において新型コロナウイルスの影響が最も出たのが旅行事業でした。

2020年3月期 セグメント別営業利益推移表

(単位:百万円)

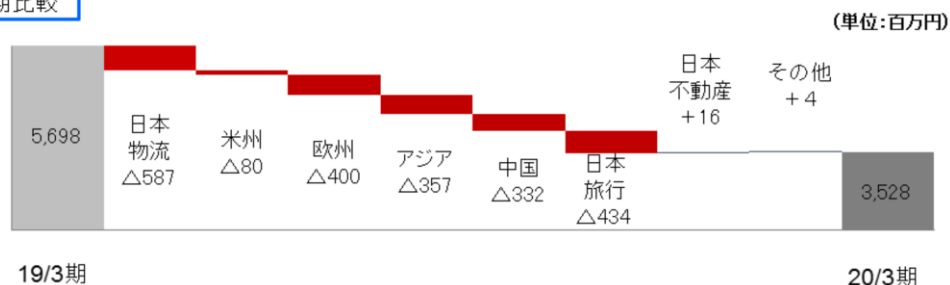
		20/3期実績				
事業		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
物流事業	日本	333	558	895	197	1,983
	海外	146	135	86	93	460
旅行事業		109	130	180	△280	139
不動産事業		244	214	208	224	890
その他		17	11	16	12	56
合計		849	1,048	1,385	246	3,528

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

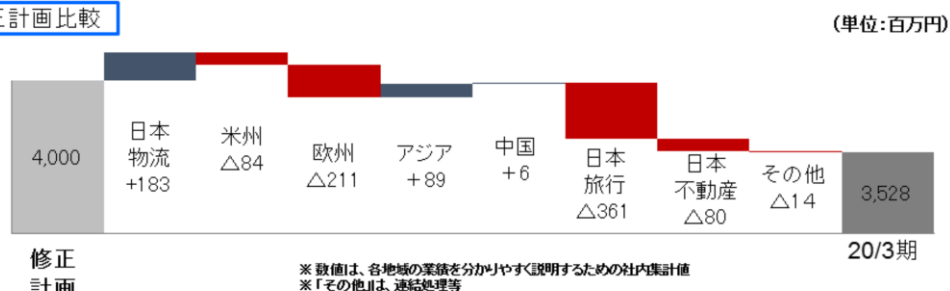
- ・四半期ごとの各セグメント営業利益推移となります。
- ・合計金額で見ますと第1四半期を底に、第2四半期、第3四半期と着実に業績は回復してきました。
- ・新型コロナウイルスの影響により第4四半期は、旅行事業は大きく減益となりました。

2020年3月期 営業利益増減比較

前期比較



修正計画比較



※ 数値は、各地域の業績を分かりやすく説明するための社内集計値
※ 「その他」は、連結処理等

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・営業利益の前期比と計画比をグラフ化したものです。
- ・対前期比で営業利益は、21億70百万円減少の35億28百万円でした。その内訳を示したのが上のグラフです。不動産事業以外の各セグメントはすべて減益となりました。
- ・下のグラフは、計画に対する増減を表しています。日本物流、アジア、中国は計画を上回りましたが、米州、欧州、旅行事業で計画を下回りました。特に旅行事業は新型コロナウイルスによる影響が顕著に出了た。
- ・2019年度第4四半期(2020年1月～3月)での新型コロナウイルスによる連結収支への影響はマイナス5億20百万円(営業利益)でした。

2020年3月期 営業利益前期比増減要因

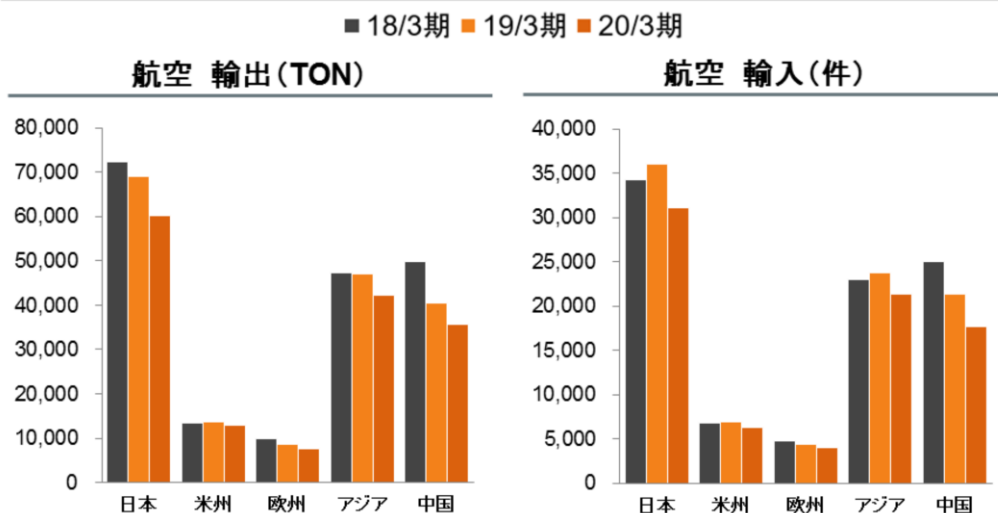
事業	地域	前期比 (百万円)	修正計画比 (百万円)	概況
物流事業	日本	△587	183	化学品・危険品の倉庫、国内配送業務が好調 自動車関連貨物取扱減少 航空輸出入貨物減少
	米州	△80	△84	カナダ・メキシコは収益回復 米国は自動車関連貨物取扱い減少
	欧州	△400	△211	フランスは収支改善 ポーランド倉庫保管業務が減少 英国の国内トラック輸送事業が縮小
	アジア	△357	89	自動車関連貨物減少に伴う、アジア各国での倉庫業務減少 自動車関連貨物の生産部品、研究品の域内輸送減少 タイ発緊急品航空輸送が発生
	中国	△332	6	香港発、航空貨物の減少 上海倉庫事業低調
旅行事業		△434	△361	業務渡航者数減少
不動産事業		16	△80	京浜地区における不動産事業堅調

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・日本物流は化学品・危険品の国内配送、倉庫保管業務が好調でした。設備、機械の輸出、食品関連の輸入と保管が堅調でした。自動車関連貨物の取り扱いが減少しました。航空輸出貨物も全般的に減少しました。
- ・米州はカナダでは自動車関連新規ビジネスが拡大しており、メキシコも前年の洪水による収益悪化から回復しました。米国はデトロイトに支店を開設、ミシガン地区の自動車営業強化に取組みました。しかしながら期待された下期以降の自動車関連貨物の荷動き回復が遅れました。
- ・欧州は拠点再編の一環として、スペイン現法をドイツ日新の支店にしました。同じくドイツ・ハンブルク支店の空港事務所をハンブルク支店に統合しました。ポーランドと英国は、倉庫再編の為、今期は一時的に二重家賃が発生しましたが、来期以降この問題は解消し収益増加に寄与します。英国の自動車部品国内配送業務は縮小傾向にあります。
- ・アジア各国も自動車関連貨物の動きが1年を通し低調でした。更に2020年1月からは新型コロナウイルスの影響により徐々に工場稼働率が低下し、収益に影響を及ぼしました。
タイでは3月に緊急品航空輸送が発生しました。
- ・中国は米中貿易摩擦や香港デモなどの影響で、特に航空輸出貨物が減少しました。
- ・旅行事業は団体旅行、MICE、インバウンドなど業務の多角化に取組み、一定の成果を上げました。しかしながら主力の業務渡航者の減少に加え新型コロナウイルスによる世界的な移動の制限が収益に影響しました。
- ・不動産事業は新型コロナウイルスの影響で駐車場収入が減少しましたが、通期では前年を上回りました。

航空 物量推移

■ 航空貨物量は輸出、輸入とも低調

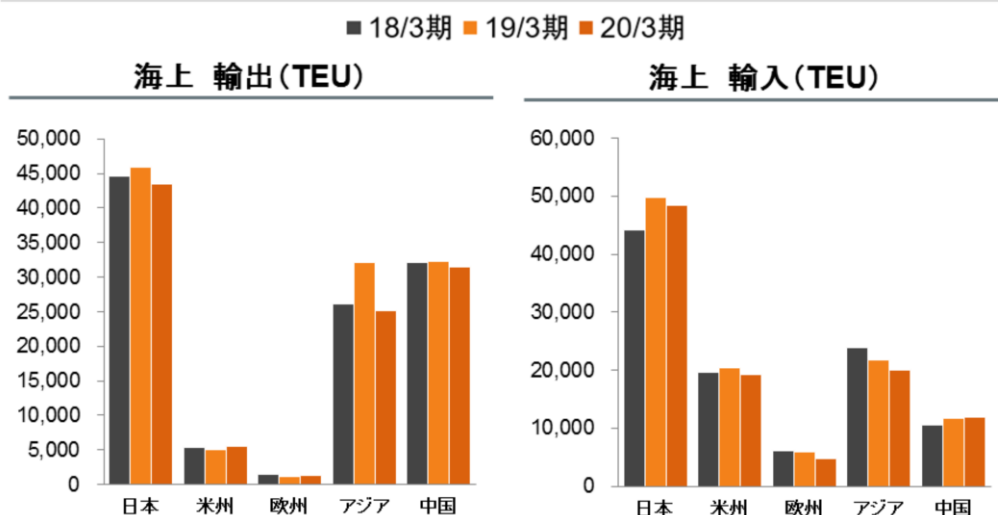


ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・日本、米州、欧州、アジア発自動車関連航空貨物量が減少しました。
- ・中国は電気・電子部品の航空貨物量が減少しました。

海上 物量推移

■ 海上貨物は微減



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

・表は当社NVOCC事業の取扱い実績となります。

・海上貨物については航空ほどの減少は見られませんでした。

(日本)

中国向け電機・原材料関係が堅調で、前年比微減となりました。

(米州)

日本向け食品関連等の輸出が好調で前年比増となりました。

(欧州)

特に大きな動きは見受けられませんでした。

(アジア)

タイ発アメリカ向けを中心とした自動車部品関連の落ち込みにより、大幅減となりました。

(中国)

アメリカ向け電機、日本向け家電案件の入札シェア増などにより、前年比微減に留まりました。

Ⅱ.新型コロナウイルスの今後の影響

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み



◆基本方針

お客様の企業活動における物流、輸送、移動へのサービス提供継続を第一優先事項として、社内外の感染被害抑止に努めて参ります。

国内：

- ・ 通関業務継続のために一部職員の複数事務所への分散
- ・ 事務所封鎖を想定したサテライト事務所の設置、テレワーク対応

海外：

- ・ 各国保健当局の指導に基づく防疫処置を徹底
- ・ 各地の状況を日本に発信

国際物流業者としての責務を認識し、役割を果たして参ります。

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

・感染被害抑止に努めるため、社員には以下の行動を徹底させています。

- ① 通常の安全衛生措置に加え、清掃の強化、消毒措置、マスク着用の励行。
- ② 外部接触社員への防疫指導、マスク着用の義務付け。
- ③ 厚生労働省の指導に基づく自宅待機等の措置。

セグメント別見通し

◆ 物流事業

日本: 化学品・危険品、食品事業は新型コロナウイルスに左右されず堅調に推移する見込み。
自動車事業は回復に時間がかかる見込み。

海外: 自動車関連貨物の荷動きは生産再開に伴い、回復が見込まれるが、本格化まで時間がかかる見込み。
中国では、すでに底を脱し貨物量は回復しています。

◆ 旅行事業

業務渡航者数の減少は、徐々に回復していくと思われるが、本格的な回復には時間を要する見込み。

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・新型コロナウイルスの上期への影響についてまとめてみました。
- ・現時点(5月29日)で、中国発着貨物量は順調に回復してきています。
- ・アジアも同様に底を脱したと思われます。
- ・日本を含む先進各国はすでに経済活動を再開しており、徐々に貨物量も増加していくと予想します。

新型コロナウイルス蔓延による世界経済への影響が不透明の中、21年3月期の業績予想については合理的な算出が困難であるため、未定とさせていただきます。

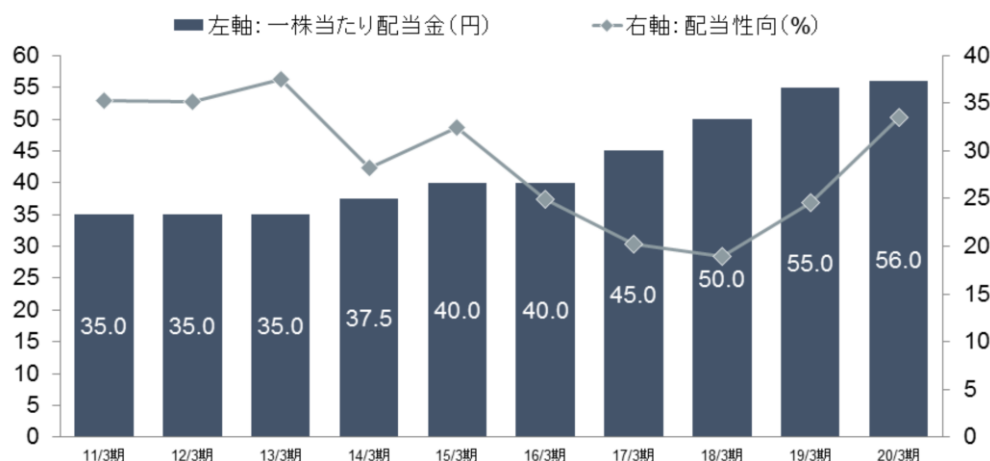
業績予想につきましては、算出が可能になった時点で速やかに開示させていただきます。

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・日本での緊急事態宣言は5月25日に全面解除となりましたが、未だ世界では新型コロナウイルス蔓延による経済の先行き不透明感が継続しています。国際輸送を生業とする当社にとって、現在の状況では信頼のおける業績予想を算出する事は大変困難で、今回の発表は「未定」とさせていただきました。

配当政策

- 20年3月期は年間56円の配当を実施
- 21年3月期の配当は現段階で未定とするも、引き続き安定配当を目指す



(注) 2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、株式併合を考慮した金額を記載

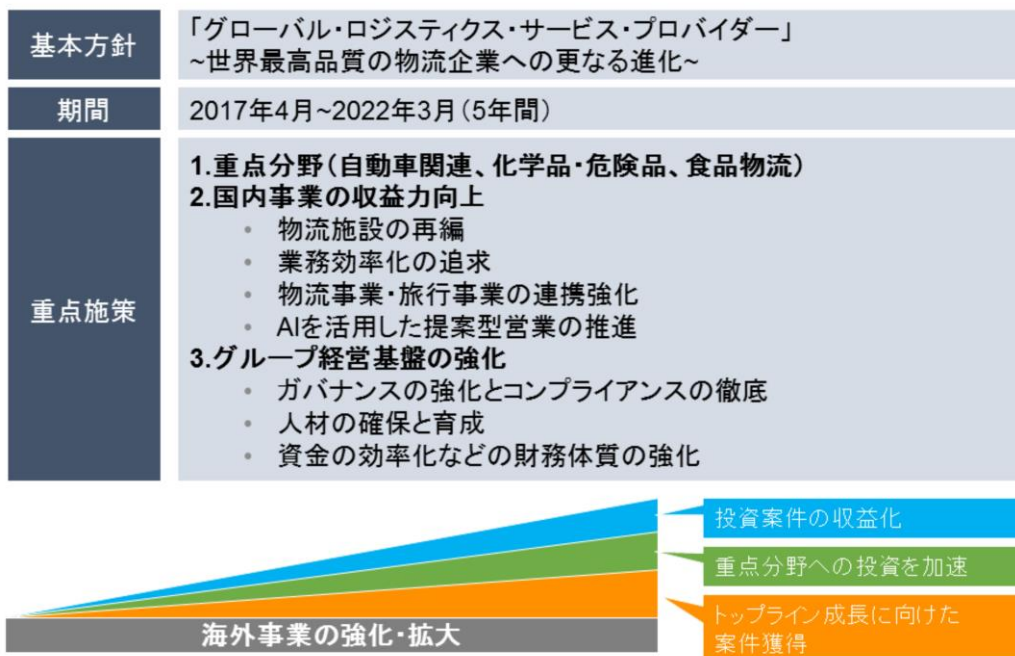
ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・当社配当政策は安定的配当の継続を基本としております。
今後も利益配分につきましては株主様への還元の充実に努めてまいります。
- ・21年3月期の配当金につきましては、改めて報告させていただきます。

Ⅲ.第6次中期経営計画進捗

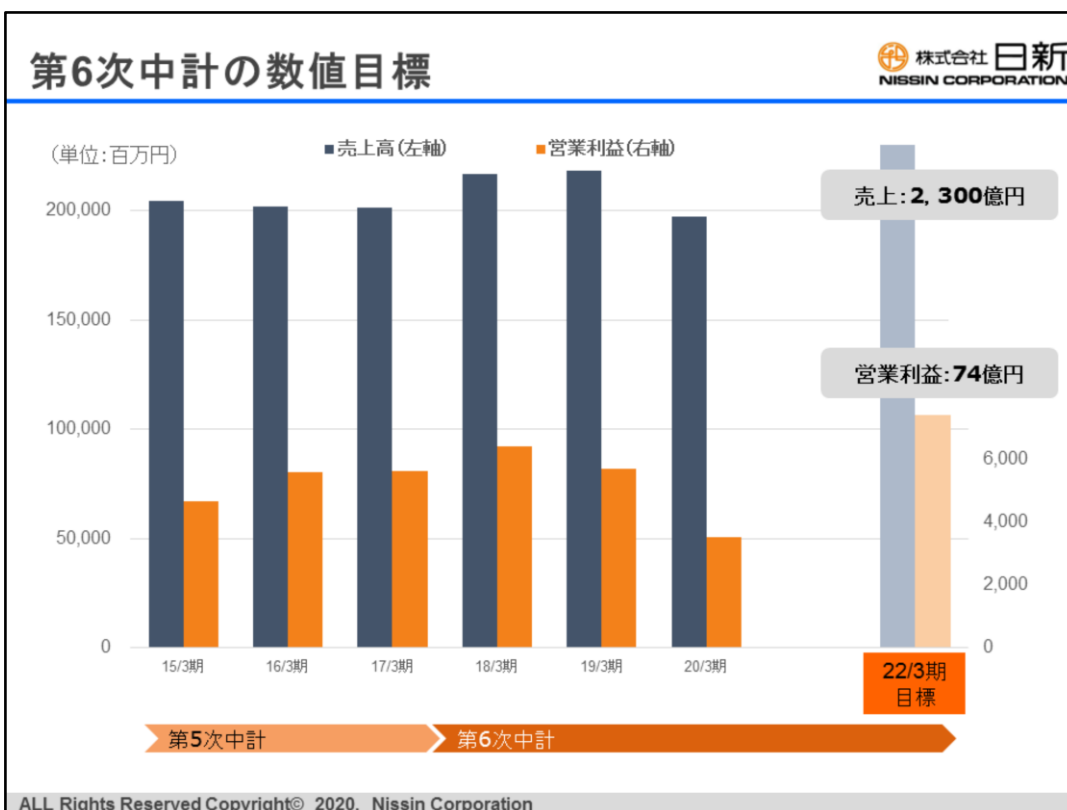
ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

第6次中計 基本方針



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・3年目が終了した第6次中期経営計画の進捗を報告致します。
- ・第6次中計は2017年4月から2022年3月までの5年間を対象期間として重点施策を明確にした上、最終年度に連結売上2,300億円、連結営業利益74億円の達成を目標としています。
- ・重点3分野は自動車関連物流、化学品・危険品物流、食品物流を重点強化分野と位置づけ、グループ力を駆使しての事業拡大を目指します。
- ・国内事業の収益力向上は、設備投資と組織改編を含む業務効率化に主眼を置きます。
- ・グループ経営基盤強化はガバナンス強化とコンプライアンスの徹底、人材育成、財務体質強化などの施策となります。



- ・最終目標の売上2,300億円、営業利益74億円を目指し、グループ一丸となって 施策推進に取り組んでおります。
- ・今期発生した新型コロナウイルスの数値目標に与える影響は現段階では不透明な状況です。

設備投資計画の進捗状況

投 資 案 件	面 積	投資額		使用開始
		計 画	実 績	
海 外 倉 庫		61億円	18億円	---
オハイオ(米国)	12,081㎡			18年3月
上 海(中国)	39,197㎡			18年4月
マラッカ(マレーシア)	13,000㎡			18年3月
プラチンプリ(タイ)	10,020㎡			19年1月
国 内 倉 庫		169億円	173億円	---
九州日新アイランドシティ	21,951㎡			19年9月
摩耶西冷蔵倉庫	8,237㎡			20年2月
平和島冷蔵物流センター(仮称)	12,927㎡			21年3月
本牧Aロジスティクスセンター(仮称)	10,085㎡			21年7月
横浜市地区				計画中
I T 投 資		30億円	12億円	17年4月～ 20年3月
合 計		260億円	203億円	---

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・総額260億円の設備投資計画は順調に進捗しております。
- ・国内外での倉庫、物流施設関連の需要は活発で、当初計画以外にもいくつかの投資案件が進行中です。公表できる段階となりましたら速やかに報告致します。

重点施策トピックス①

九州日新 アイランドシティーロジスティクスセンター 竣工 19年9月

福岡市が国際物流として整備を進めるアイランドシティーに位置し、コンテナターミナル、九州自動車道福岡IC、福岡空港が全て10Km圏内に入る抜群の立地

- ・ 常温、冷蔵両機能を持つ保税倉庫。東アジア諸国への輸出基地も視野に

【施設概要】

名 称 : 九州日新アイランドシティー
ロジスティクスセンター
所 在 地 : 福岡市東区みなと香椎3丁目
施設内容: 常温(一部空調設備付き)
冷蔵
敷地面積: 14,703 m²
延床面積: 21,951 m²
ドックレベラー: 9基



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・ トピックスとして3つの新倉庫をご紹介します。
- ・ 国際都市である福岡市の北東部に位置するアイランドシティーは、九州・福岡の海の玄関口である博多港に隣接する新たな物流エリアとして注目されています。当ロジスティクスセンターは、常温倉庫、空調倉庫、冷蔵倉庫を完備し、日本各地やアジアを結ぶ物流拠点として、保管・配送だけでなく、輸出・輸入に対応した保税、流通加工、コールドチェーンまで対応可能な大型多機能倉庫です。

重点施策トピックス②

摩耶西倉庫竣工 20年2月

隣接する既存の摩耶冷蔵倉庫・摩耶埠頭倉庫とともに一体運用することで
全温度帯(冷凍・冷蔵・定温・常温)対応完了

- ・ 需要が高まる冷凍スペースの増強を目的として建設
- ・ スピーディーな作業が可能な自動ラック導入
- ・ BCP対策の一環として受電設備、冷凍機等を荷捌棟の2階部分に設置

【施設概要】

名 称 : 摩耶西冷蔵倉庫
所在地 : 神戸市灘区摩耶埠頭 2-6
施設内容 : 冷凍自動ラック倉庫
敷地面積 : 4,140.03 ㎡
延床面積 : 8,237.74 ㎡
収容能力 : 13,800 冷蔵トッ
クレーン数 : 5 台
搬送台車 : 4 台
棚 数 : 5,040 パレット



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・ 当倉庫は需要が高まる冷凍スペースの増強を目的として建設され、よりスピーディーな作業が可能な自動ラックを導入しております。

重点施策トピックス③

平和島冷蔵物流センター(仮称)稼働予定 21年3月

東京港、羽田空港に近く、首都圏へのアクセス抜群の立地に最新型冷蔵倉庫を建設予定

地上5階建て、延床面積約18,000㎡、26,000冷蔵トンの収容能力
トラックバース18レーン

【施設概要】

名称：平和島冷蔵物流センター(仮称)

所在地：大田区平和島三丁目

施設内容：冷凍・冷蔵倉庫

延床面積：18,326 ㎡

収容能力：26,341 冷蔵トン



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

- ・新たに着工するこの冷蔵物流センターは、地上5階建て、延床面積 約18,000 平方メートル、F級C級あわせて約26,000冷蔵トンの収容能力を擁します。冷却機には、自然環境への負荷を減らす取り組みとして、自然冷媒を採用します。
- ・東京港、羽田空港に近く、また大消費地である首都圏へのアクセスにも便利な立地の優位性を生かして、質の高い食品物流サービスをご提供します。

IV.ESGの取組み

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

日新グループのESG取組み

日新グループの持続的成長

持続可能な社会の実現

Environment	Social	Governance
- モーターシフトの推進 (シベリアランドブリッジ (ベトナムグリーンライン)) - 省エネの取組み(拠点への LED導入) - 物流容器管理サービス 「HACO Lab (ハコラボ)」の 積極的運用 - 環境配慮型電気設備導入 (堺ロジスティクスセンター) - 神奈川県森林保全事業に 賛同し「森林再生パートナー」 として活動	- 英国現代奴隷法への対応 - 自動倉庫化による人手不足対 応(摩耶西倉庫) - 多様な働き方の導入 「ホワイト物流」推進運動自主 行動宣言を提出	- 社外取締役の増員 - リスク管理活動の推進 - 事業継続マネジメント 運用開始

企業行動憲章

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

・当社はグループとして各種ESG活動に取り組んでおります。
詳しい内容はCSRレポート(近日発行)に掲載いたします。

(*青字は今期の新たな取組みです。)

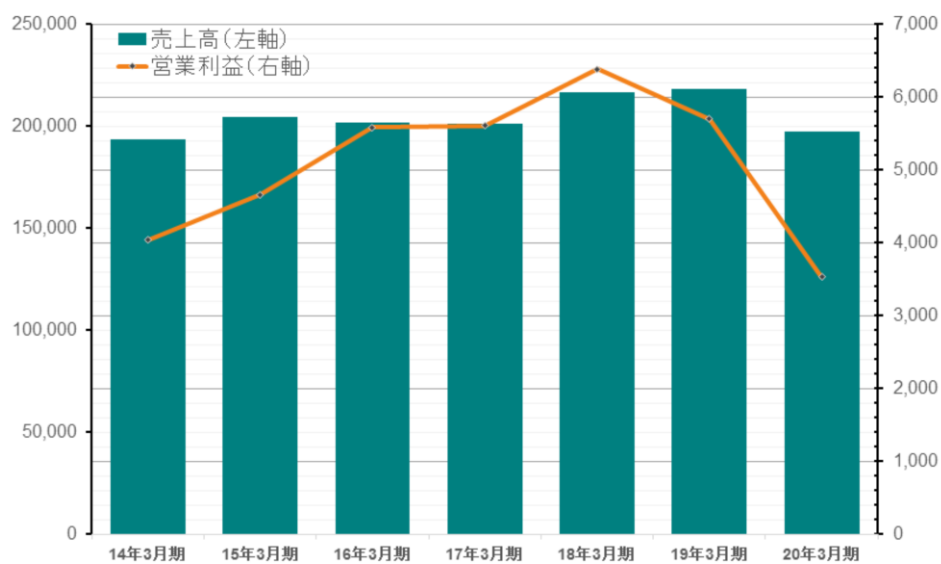
補足資料

I .財務データ

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

業績推移(連結)

単位:百万円



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

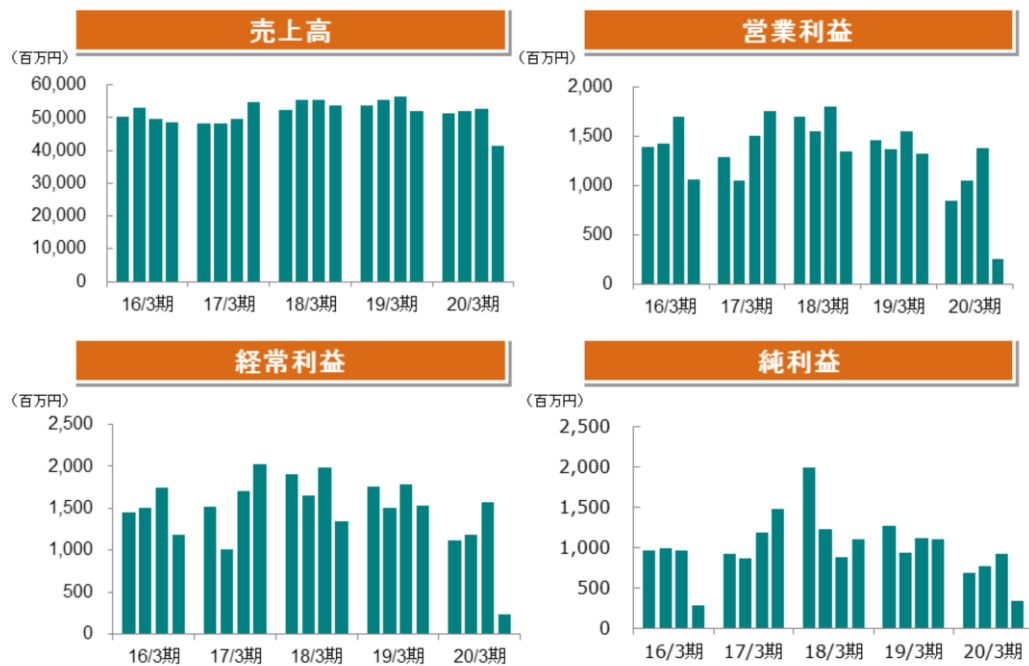
物流事業の地域別売上構成比

事業別状況

	航空	海上	倉庫・他	合計
日本 (単体)	16%	37%	47%	100%
米州	31%	30%	39%	100%
欧州	24%	25%	51%	100%
アジア	36%	34%	30%	100%
中国	41%	30%	29%	100%

※2020年3月の社内集計値

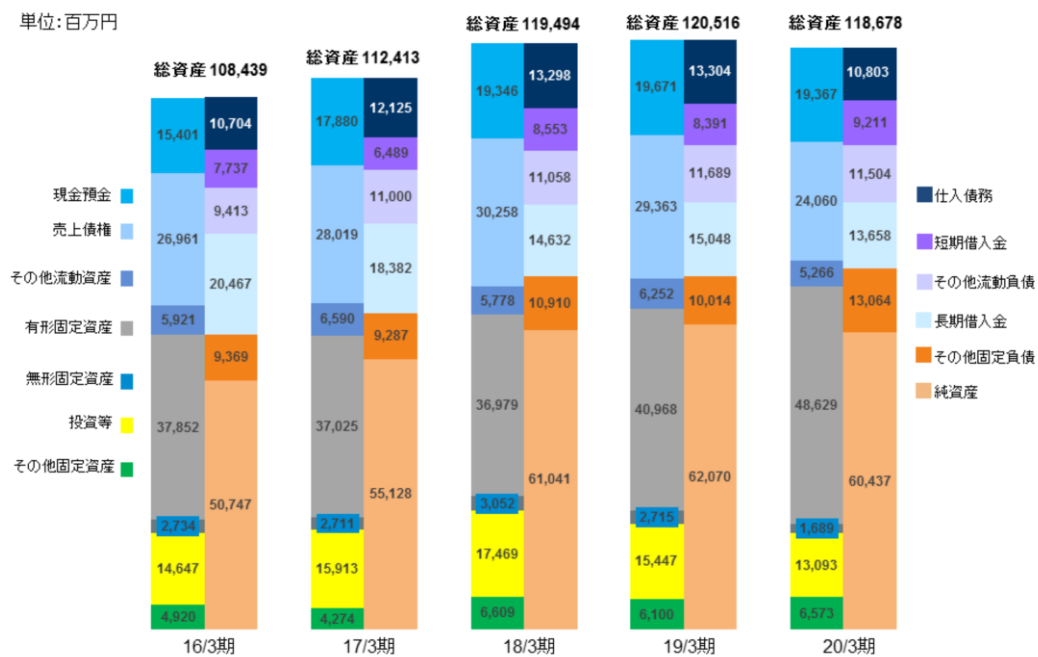
四半期ごとの実績推移(連結)



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

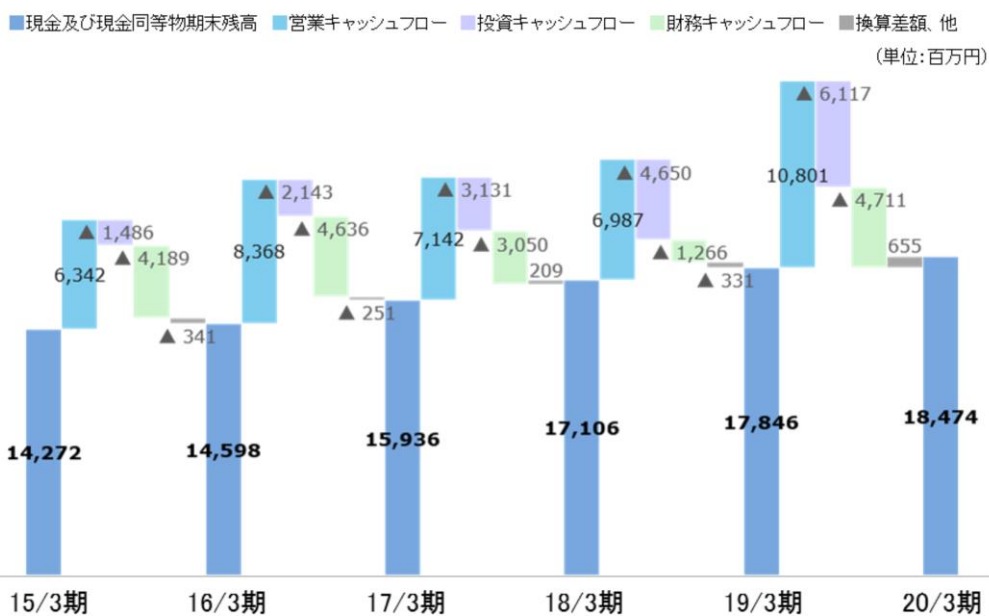
貸借対照表 5力年推移

単位:百万円



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

連結キャッシュフロー 5カ年推移



※ 数値は、分かりやすく説明するための社内集計値

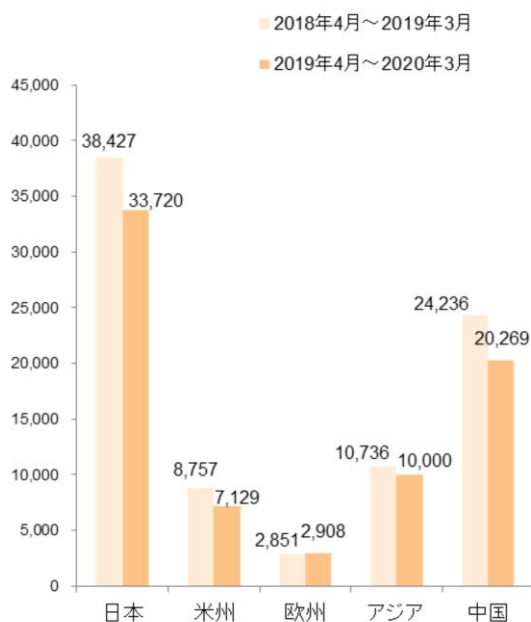
ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

Ⅱ．物量

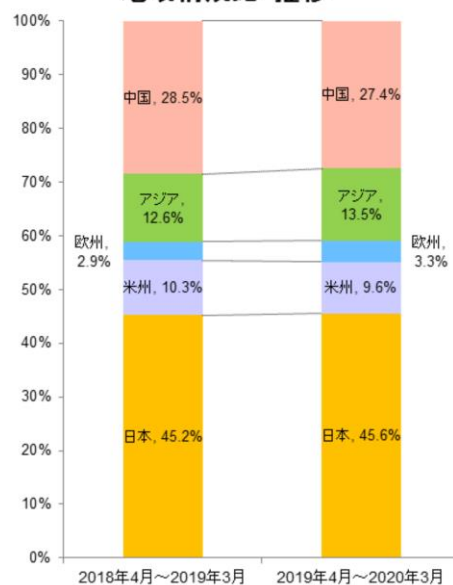
ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

航空貨物 地域別輸出取扱物量

単位:トン (C/W)

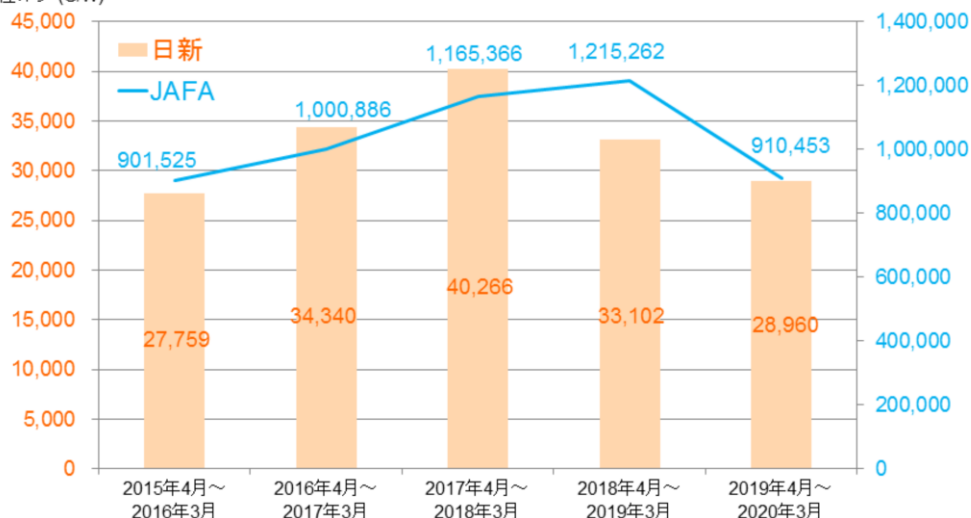


地域構成比 推移



航空貨物 日本発輸出混載取扱物量 5カ年推移 株式会社 日新 NISSIN CORPORATION

単位:トン (G/W)

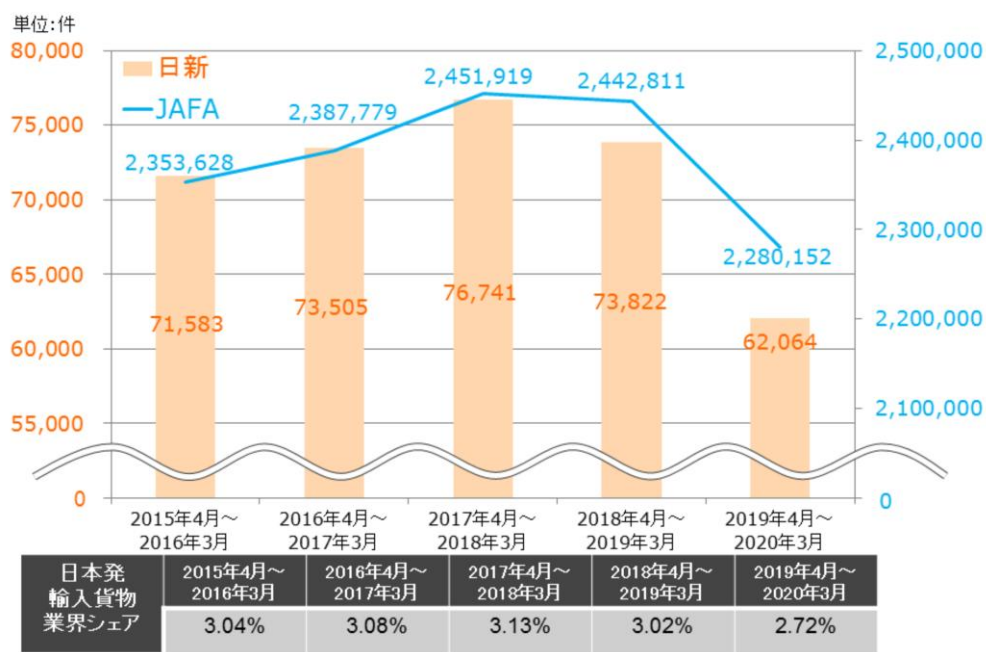


日本発輸出貨物業界シェア	2015年4月～2016年3月	2016年4月～2017年3月	2017年4月～2018年3月	2018年4月～2019年3月	2019年4月～2020年3月
	3.08%	3.43%	3.46%	2.72%	3.18%

※ 業界シェアは当社推計

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

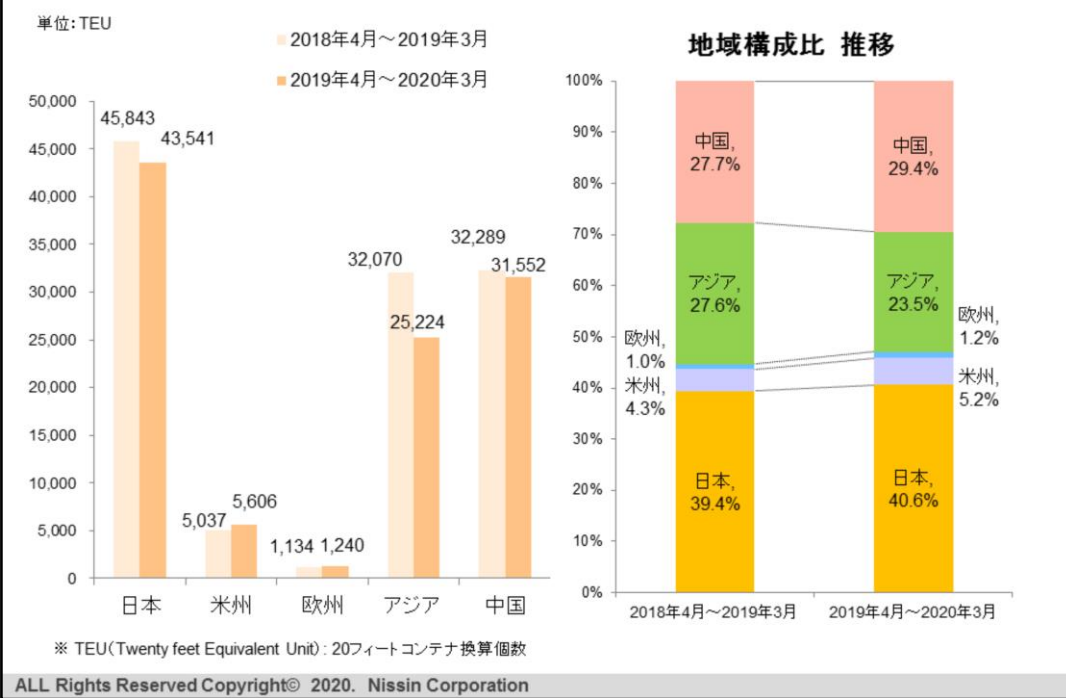
航空貨物 日本着輸入混載取扱物量 5力年推移 株式会社 日新 NISSIN CORPORATION



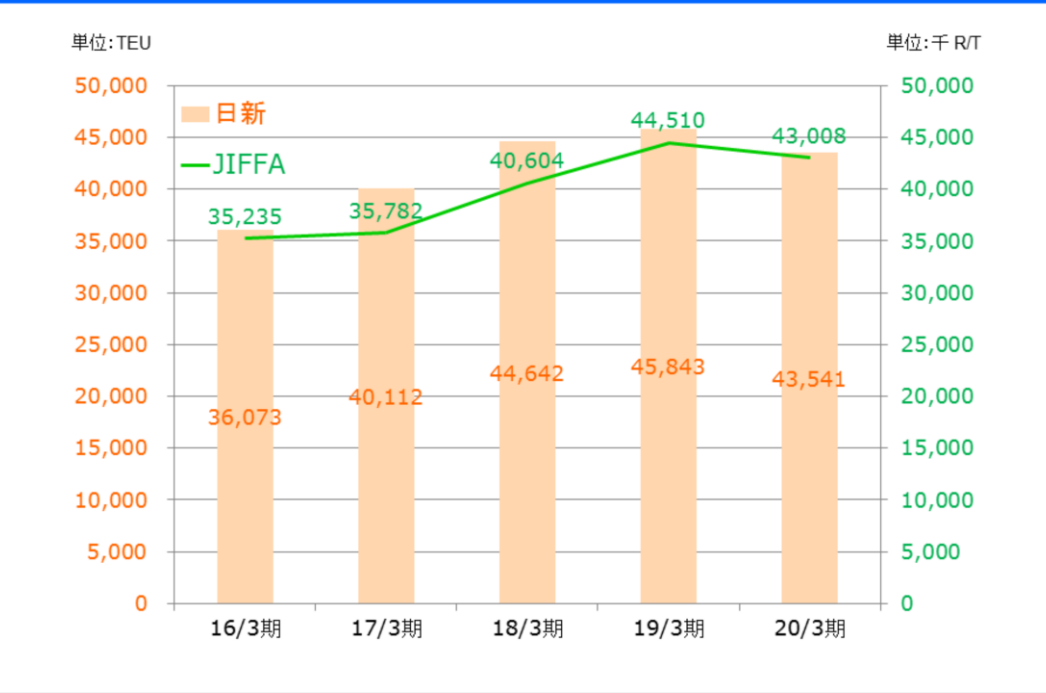
※ 業界シェアは当社推計

ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

NVOCC (FCL) 地域別輸出取扱物量

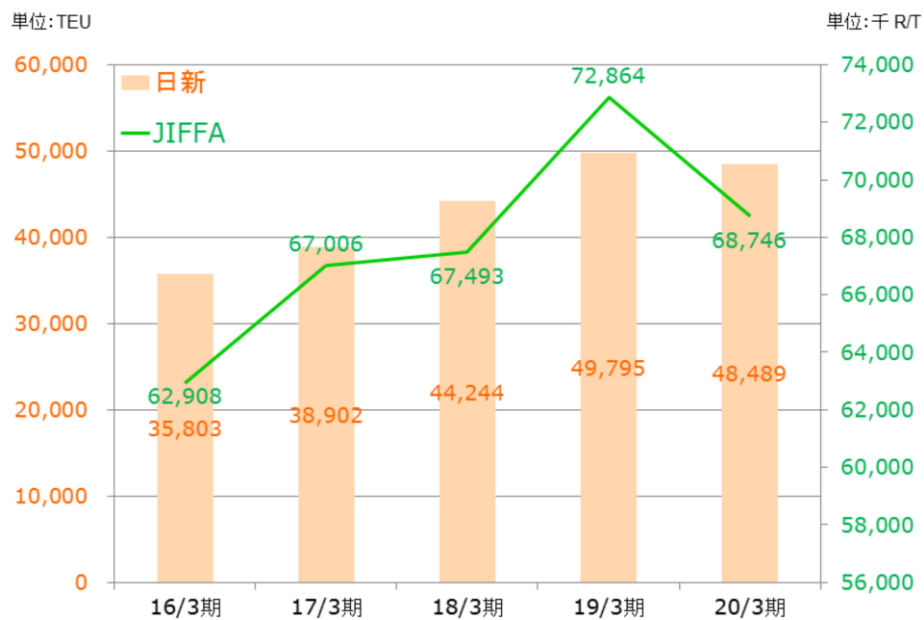


NVOCC(FCL) 日本発輸出取扱物量 5力年推移



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissan Corporation

NVOCC(FCL) 日本着輸入取扱物量 5力年推移 株式会社 日新 NISSIN CORPORATION



ALL Rights Reserved Copyright© 2020. Nissin Corporation

資料ならびにIRに関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社 日新
経営企画部
TEL: 03-3238-6555
<https://www.nissin-tw.com>

※本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。
また、将来に亘る部分につきましては予想に基づくものであり、
確約や保証を与えるものではありません。